

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	放課後子ども教室推進事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権課		
総合計画体系			根拠法令計画など	徳島県放課後子ども教室推進事業等実施要項		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成	19年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと			終期	未定
(小項目)		生涯学習				
施策	1	生涯学習の推進				
基本事業	3	青少年健全育成の推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 放課後子ども教室の設置を希望する鳴門市内の小学校に通う小学生。						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	①安全で安心した放課後の居場所がある。 ②地域の人たちとの交流の場、体験活動の場を提供する						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		放課後子ども教室利用者の延べ人数	9,000	7,800	7,800	7,800	7800	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	各教室のコーディネーターを集めた実行委員会を開き、教室の運営や教室内容について情報交換を行っている。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
	指標名	24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 教室の実施回数	390	391	390	390	390	回
	2 教室の参加児童数	342	350	350	350	350	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	放課後子ども教室利用者の延べ人数	7,513	8541	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)		109.3	—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	3,181	3,064	4,000	4,000	4,000	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	2,120	2,042	2,666	2,666		2,666
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	1,061	1,022	1,334	1,334		1,334
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		1,955	1,955	1,955	1,955	1,955	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		5,136	5,019	5,955	5,955	5,955	千円	

【事務事業名：放課後子ども教室推進事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	平成19年度より継続が5教室あり、新しい教室が1教室加わった。それぞれの教室の内容も地域性を出したり、子ども達の意見を聞いて新しいものを取り込んだりと、工夫をしながら安定した居場所作りを行っている。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	放課後の安全で安心な居場所が提供できなくなるとともに地域のつながりも薄くなる。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 <b>生涯学習の推進</b> の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/>	⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	各地区の特色を出した教室運営をしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	地域のいろいろな団体(婦人会や老人会等)の協力を得ることも視野に入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	放課後子ども教室を長く継続したり、新しい教室を開くには、指導者やコーディネーターの後継者づくりが必要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				